

鉱 工 業 指 数 參 考 図 表 集  
(2022 年 1 月 速 報 )

2022 年 2 月 28 日

経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 2022年1月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	95.2	93.7	99.0	114.3
前月比	-1.3%	-1.8%	-1.8%	-1.3%
指数水準	2021. 10 91. 1以来  ①2020. 5 77. 2 ②2020. 6 81. 0 ③2020. 4 86. 3	2021. 10 88. 7以来  ①2020. 5 75. 9 ②2020. 6 81. 1 ③2020. 4 84. 1	2021. 10 98. 7以来  ①2021. 5 93. 7 ②2021. 2 94. 4 ③2021. 4 94. 7	2021. 8 113. 7以来  ①2014. 3 89. 1 ②2013. 11 90. 8 ③2014. 1 91. 8
前月比の動き	2か月連続一 (2021.12～当月)	4か月ぶり一 (2021.9以来)	5か月ぶり一 (2021.8以来)	4か月連続一 (2021.10～当月)
前月比幅	2021. 9 -5. 4%以来  ①2020. 5 -10. 5% ②2020. 4 -10. 3% ③2021. 5 -6. 5%	2021. 9 -6. 1%以来  ①2020. 4 -10. 3% ②2020. 5 -9. 8% ③2021. 9 -6. 1%	2020. 6 -1. 8%以来 (超) 2020. 5 -2. 4%以来  ①2020. 5 -2. 4% ②2013. 11 -2. 2% ③2016. 10 -2. 0%	2021. 11 -2. 3%以来  ①2020. 6 -8. 1% ②2020. 7 -7. 6% ③2021. 1 -4. 9%
前年同月比(原指数)	-0.9% (87.6)	-1.2% (85.8)	4.1% (100.5)	4.1% (125.2)
前年同月比の動き	3か月ぶり一 (2021.10以来)	3か月ぶり一 (2021.10以来)	5か月連続十 (2021.9～当月)	5か月連続十 (2021.9～当月)
前年同月比幅	2021. 10 -4. 1%以来  ①2020. 5 -27. 0% ②2020. 6 -18. 4% ③2020. 7 -15. 9%	2021. 10 -5. 6%以来  ①2020. 5 -27. 5% ②2020. 4 -17. 0% ③2020. 7 -16. 8%	2021. 12 5. 0%以来  I 2014. 11 7. 0% II 2014. 12 5. 9% III 2021. 11 5. 6%	2021. 10 4. 7%以来  I 2020. 5 43. 5% II 2020. 4 29. 7% III 2020. 6 23. 9%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 2022年1月の鉱工業生産の基調判断

## 「生産は持ち直しの動きがみられる」

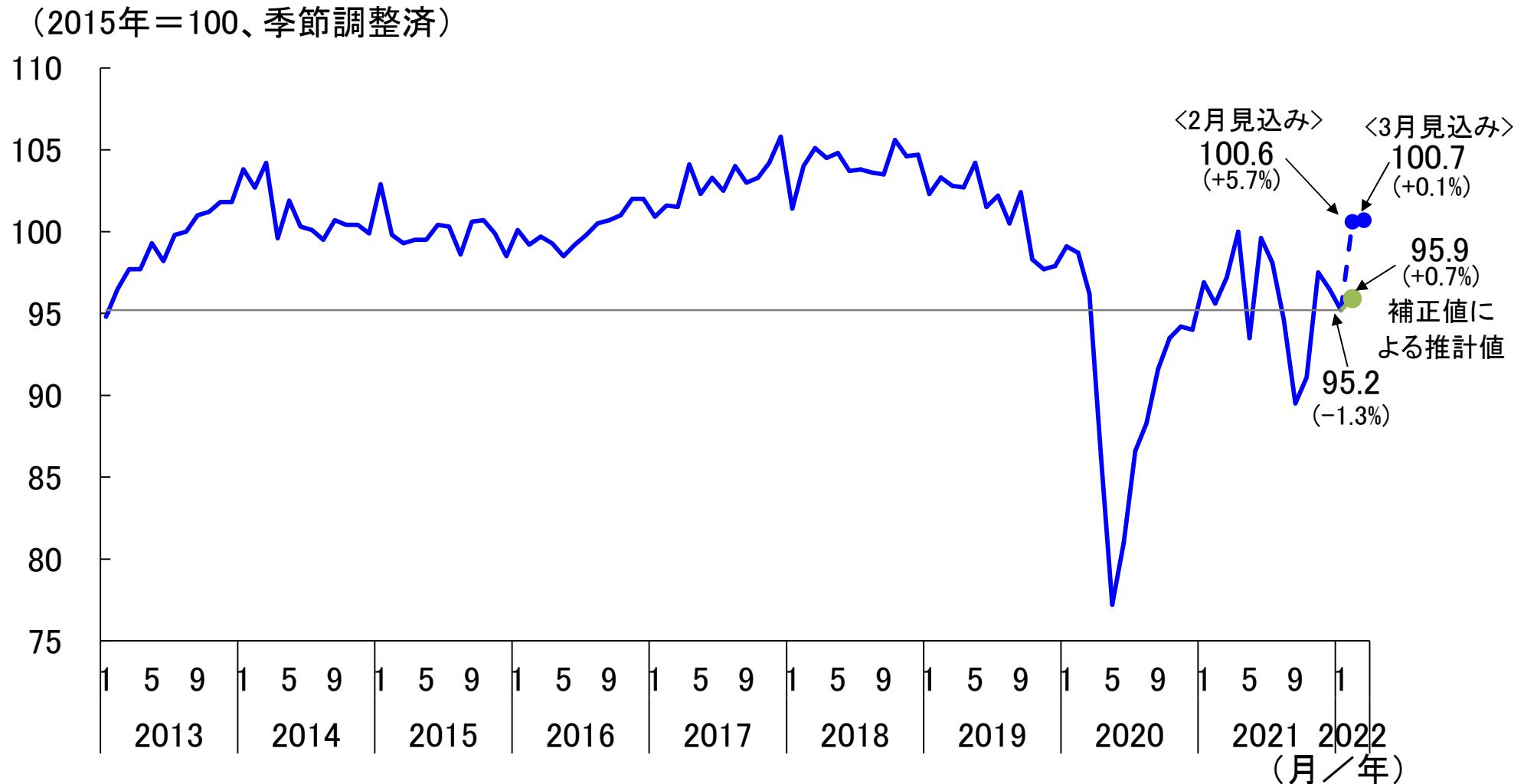
### 基調判断の推移

- |                   |                                    |
|-------------------|------------------------------------|
| ・ 2018年1月～6月      | (↓) 「生産は緩やかな持ち直し」                  |
| ・ 2018年7月～9月      | (↓) 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」 |
| ・ 2018年10月～12月    | (↑) 「生産は緩やかな持ち直し」                  |
| ・ 2019年1月、2月      | (↓) 「生産は足踏みをしている」                  |
| ・ 2019年3月         | (↓) 「生産はこのところ弱含み」                  |
| ・ 2019年4月～7月      | (↑) 「生産は一進一退」                      |
| ・ 2019年8月、9月      | (↓) 「生産はこのところ弱含み」                  |
| ・ 2019年10月～12月    | (→) 「生産は弱含み」                       |
| ・ 2020年1月、2月      | (↑) 「生産は一進一退ながら弱含み」                |
| ・ 2020年3月         | (↓) 「生産は低下している」                    |
| ・ 2020年4月、5月      | (↓) 「生産は急速に低下している」                 |
| ・ 2020年6月         | (↑) 「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」             |
| ・ 2020年7月         | (→) 「生産は持ち直しの動き」                   |
| ・ 2020年8月～2021年7月 | (↑) 「生産は持ち直している」                   |
| ・ 2021年8月～10月     | (↓) 「生産は足踏みをしている」                  |
| ・ 2021年11月～       | (↑) 「生産は持ち直しの動きがみられる」              |

(注) 「↑」前回の基調判断から上方修正、 「↓」前回の基調判断から下方修正、 「→」表現変更

# 鉱工業生産指数の動向と先行き

- 2022年1月の鉱工業生産指数は、95.2(前月比-1.3%)と2か月連続の低下。



(注) 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など  
鉱工業全体の動きを示す代表的な指標

(注) 補正值は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したもの

## 2022年1月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(業種別)

- 2022年1月の鉱工業生産指数は、95.2(前月比-1.3%)と2か月連続の低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	-17.2%	-2.69%pt
	品目	普通乗用車 小型乗用車	-17.8% -27.0%	-1.00%pt -0.27%pt
	2位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	-3.2%	-0.19%pt
	品目	普通鋼鋼帯 粗鋼	-13.0% -7.1%	-0.07%pt -0.03%pt
	3位の業種	無機・有機化学工業	-3.8%	-0.18%pt
	品目	ポリエチレン エチレン	-16.1% -12.2%	-0.06%pt -0.04%pt
鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	10.4%	0.67%pt
	品目	モス型半導体集積回路(メモリ) アクティブ型液晶パネル(大型)	21.3% 23.2%	0.28%pt 0.06%pt
	2位の業種	生産用機械工業	4.9%	0.43%pt
	品目	金型 ショベル系掘削機械	38.1% 13.0%	0.19%pt 0.17%pt
	3位の業種	化学工業(除. 無機・有機化学工業・医薬品)	10.9%	0.41%pt
	品目	合成洗剤 頭髪用化粧品	15.9% 18.5%	0.09%pt 0.07%pt

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 2022年1月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

## ＜全体＞

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	普通乗用車	-17.8%	-1.00%pt
	2位	小型乗用車	-27.0%	-0.27%pt
	3位	普通トラック	-17.5%	-0.20%pt
鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	モス型半導体集積回路(メモリ)	21.3%	0.28%pt
	2位	金型	38.1%	0.19%pt
	3位	一般用蒸気タービン	522.0%	0.19%pt

## ＜財別＝用途別＞

	解説	品目名	前月比	寄与度
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-11.1%	-0.92%pt
		普通乗用車	-17.8%	-0.85%pt
		小型乗用車	-27.0%	-0.27%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-1.2%	-0.62%pt
		自動車用エンジン	-12.2%	-0.18%pt
		シャシー・車体部品	-12.8%	-0.13%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	1.9%	0.10%pt
		エレベータ	9.5%	0.03%pt
		ガス温水給湯暖房機・風呂がま	22.1%	0.03%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	2.4%	0.43%pt
		合成洗剤	15.9%	0.09%pt
		頭髪用化粧品	18.5%	0.07%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	4.4%	0.64%pt
		金型	38.1%	0.19%pt
		一般用蒸気タービン	522.0%	0.19%pt

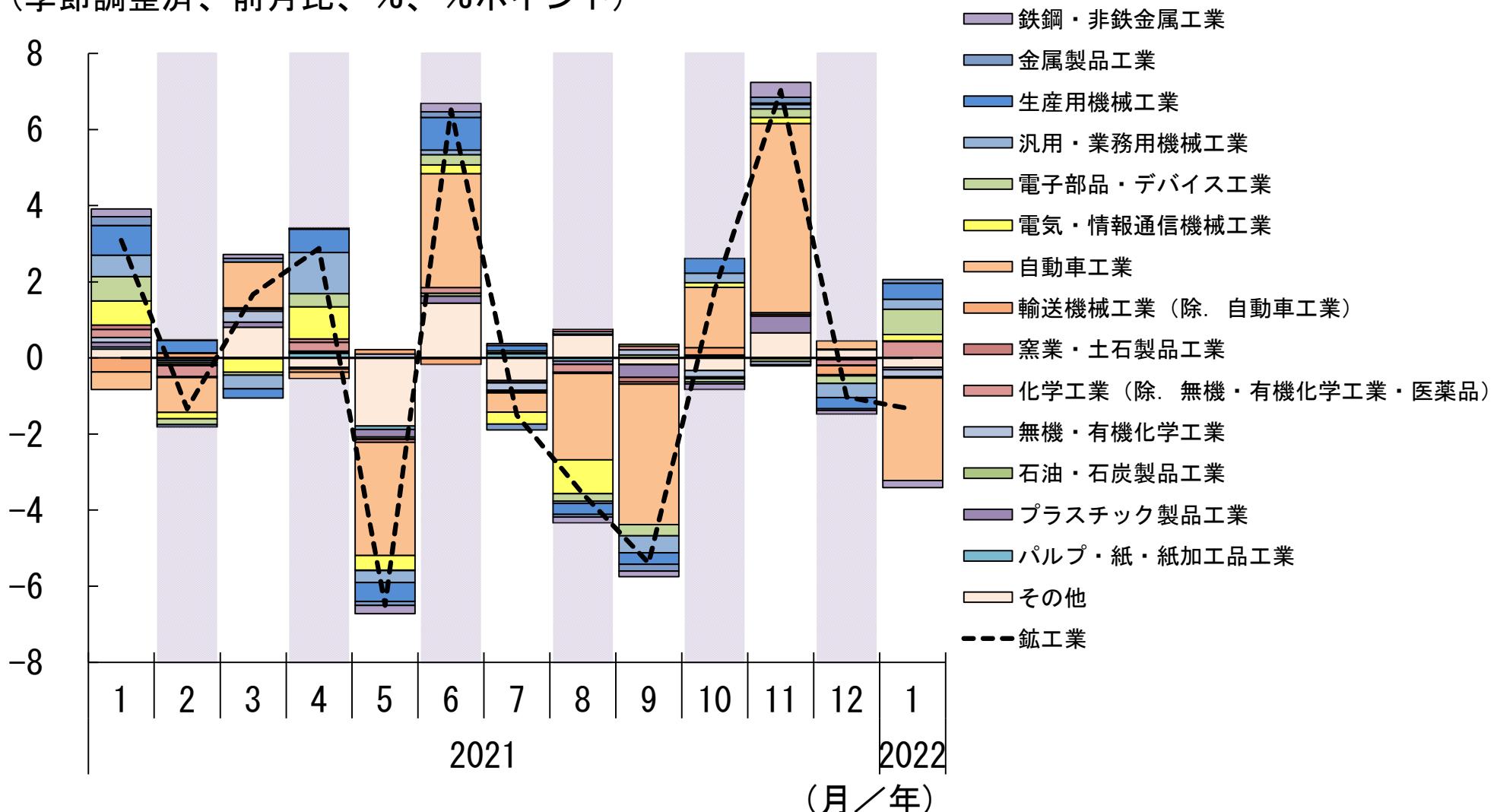
※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
(記載から外す品目) 鉄道車両 等

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2022年1月の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが上昇したものの、自動車工業などが低下したため、前月比-1.3%と低下。

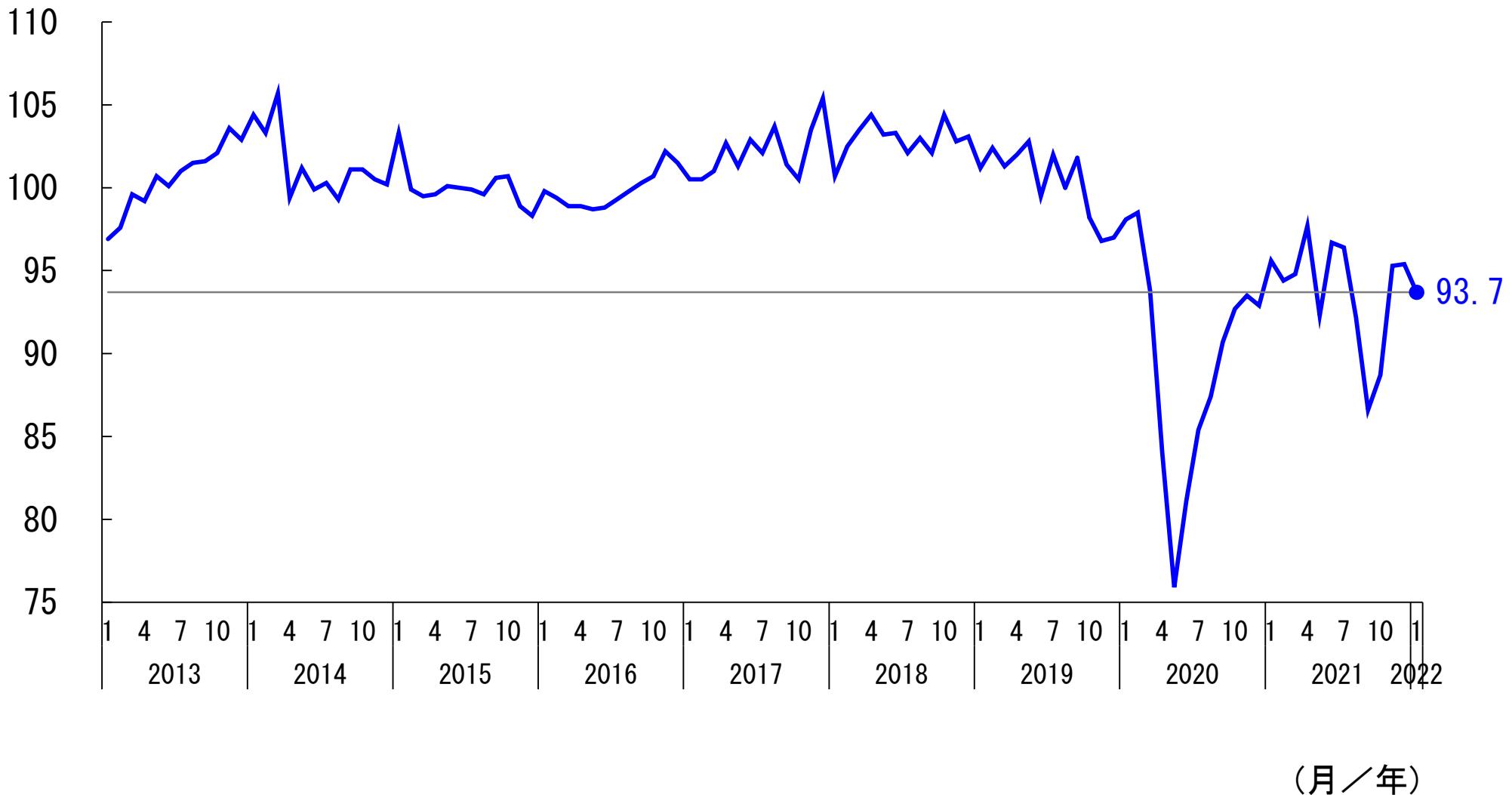
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



## 鉱工業出荷指数の動向

- 2022年1月の鉱工業出荷指数は、93.7(前月比-1.8%)と4か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)



## 2022年1月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(業種別)

- 2022年1月の鉱工業出荷指数は、93.7(前月比-1.8%)と4か月ぶりの低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業出荷を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	-15.3%	-2.55%pt
	品目	普通乗用車 小型乗用車	-19.7% -21.5%	-1.34%pt -0.25%pt
	2位の業種	輸送機械工業(除.自動車工業)	-18.5%	-0.35%pt
	品目	航空機用発動機部品 航空機用機体部品	-31.9% -19.9%	-0.08%pt -0.03%pt
	3位の業種	無機・有機化学工業	-4.6%	-0.23%pt
	品目	エチレン プロピレン	-19.2% -19.0%	-0.12%pt -0.09%pt
	1位の業種	生産用機械工業	6.9%	0.52%pt
	品目	金型 旋盤	35.9% 39.3%	0.11%pt 0.09%pt
	2位の業種	石油・石炭製品工業	7.6%	0.44%pt
鉱工業出荷を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	品目	軽油 ガソリン	14.6% 6.3%	0.16%pt 0.15%pt
	3位の業種	電子部品・デバイス工業	7.2%	0.38%pt
	品目	モス型半導体集積回路(メモリ) アクティブ型液晶パネル(大型)	12.3% 22.7%	0.11%pt 0.07%pt

※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
(記載から外す品目) 鉄道車両 等

寄与度: 出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 2022年1月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

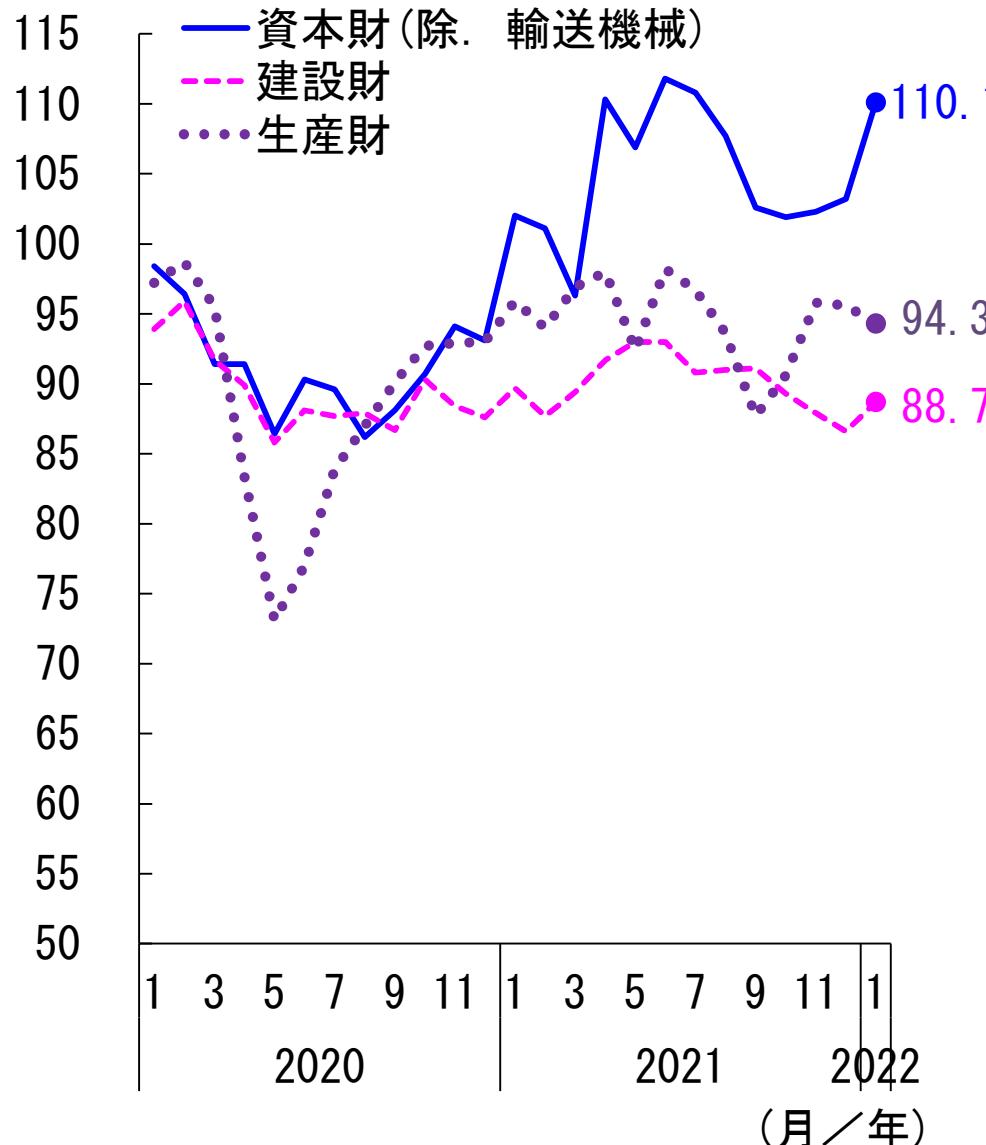
	解説	品目名	前月比	寄与度
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	-12.5%	-1.19%pt
		普通乗用車	-19.7%	-1.14%pt
		小型乗用車	-21.5%	-0.25%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-1.4%	-0.71%pt
		リチウムイオン蓄電池	-29.0%	-0.20%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	自動車用エンジン	-12.3%	-0.17%pt
		非耐久消費財	0.5%	0.08%pt
		ガソリン	6.3%	0.06%pt
		石けん類	27.9%	0.04%pt
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	2.4%	0.12%pt
		ガス温水給湯暖房機・風呂がま	23.1%	0.03%pt
		エレベータ	9.4%	0.02%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	6.7%	0.84%pt
		一般用蒸気タービン	1,233.8%	0.16%pt
		金型	35.9%	0.11%pt

※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
(記載から外す品目) 鉄道車両 等

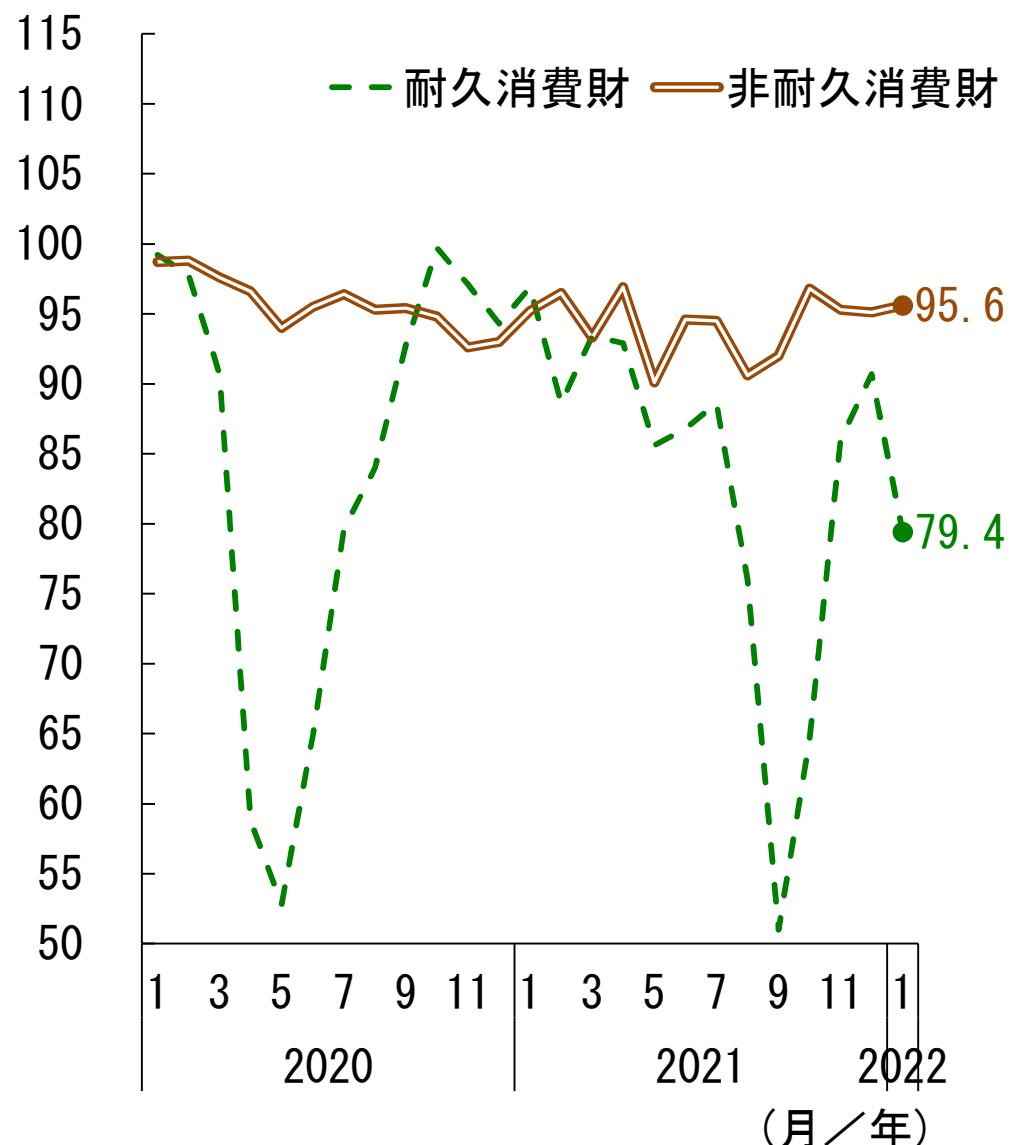
寄与度: 出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇品目と低下品目の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 財別出荷指數の動向

(2015年=100、季節調整済)



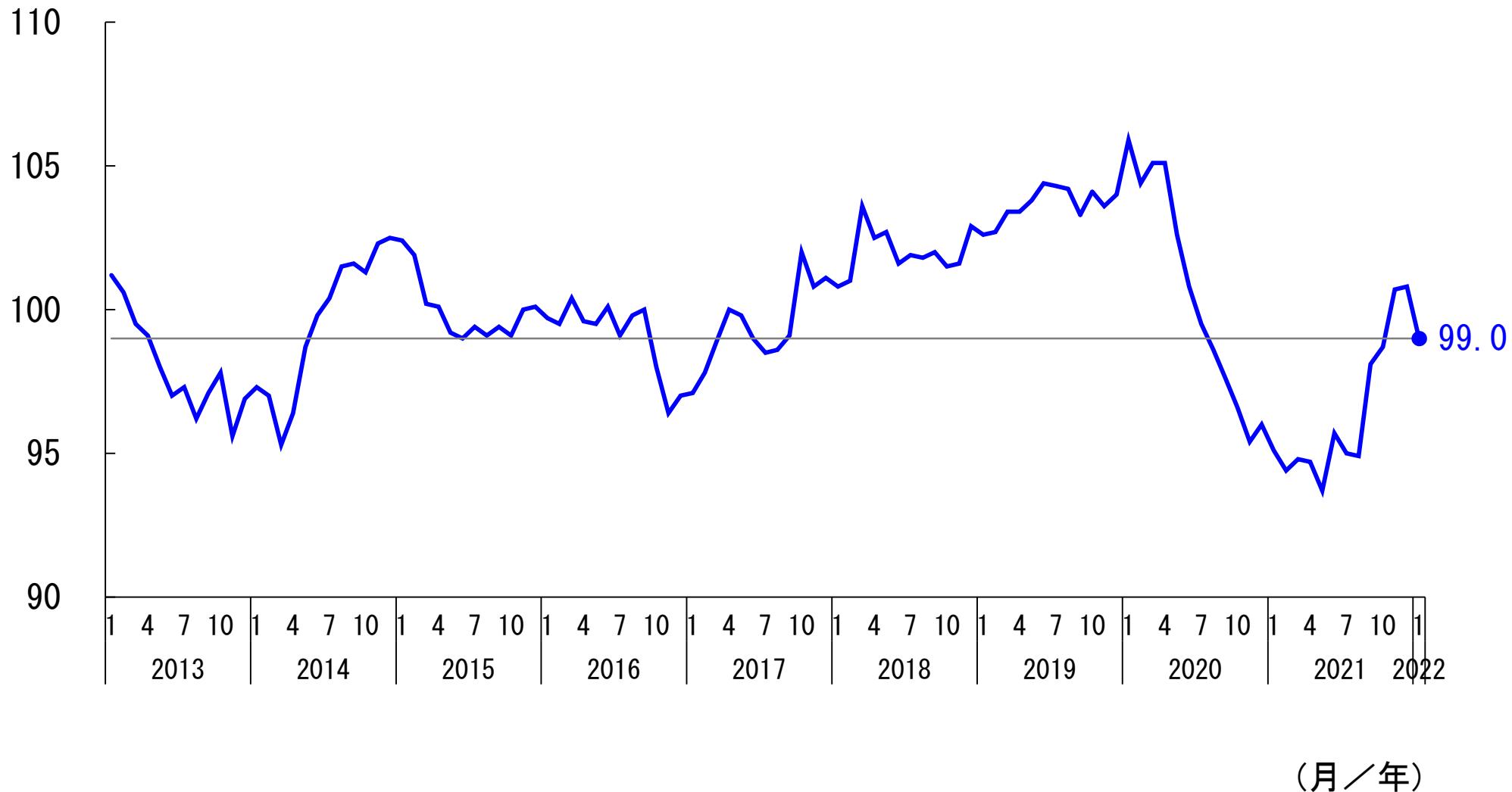
(2015年=100、季節調整済)



## 鉱工業在庫指数の動向

- 2022年1月の在庫指数は、99.0(前月比-1.8%)と5か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)



## 2022年1月の鉱工業在庫指数を大きく動かした品目(業種別)

- 2022年1月の鉱工業在庫指数は、99.0(前月比-1.8%)と5か月ぶりの低下。

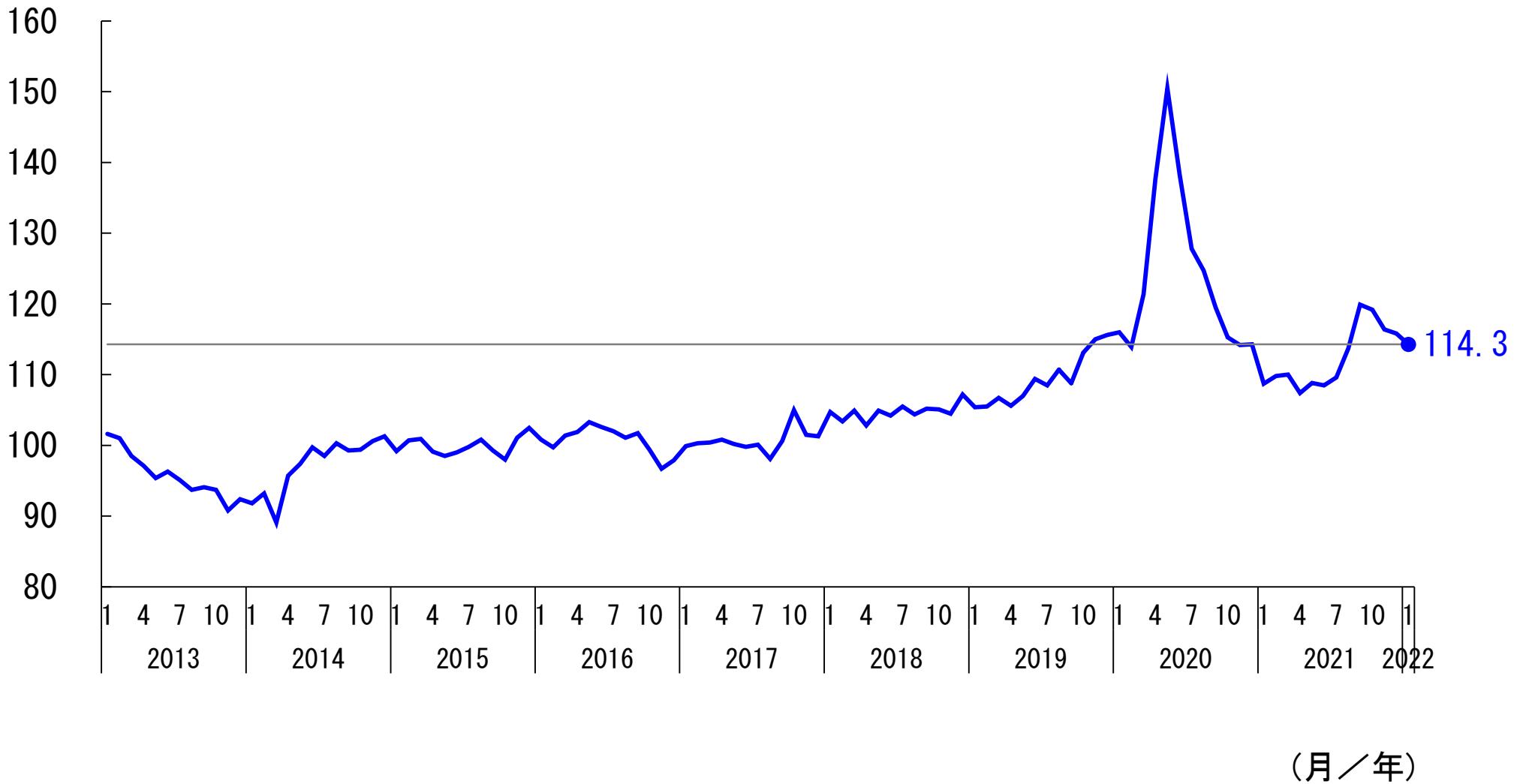
		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業在庫を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	-15.3%	-0.94%pt
	品目	普通トラック 小型乗用車	-24.4% -30.5%	-0.40%pt -0.15%pt
	2位の業種	石油・石炭製品工業	-7.6%	-0.41%pt
	品目	ガソリン 軽油	-16.3% -15.9%	-0.22%pt -0.11%pt
	3位の業種	生産用機械工業	-2.3%	-0.11%pt
	品目	装輪式トラクタ 電動工具	-22.9% -5.2%	-0.06%pt -0.03%pt
鉱工業在庫を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	電気・情報通信機械工業	1.8%	0.11%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池 自動車用電気照明器具	10.5% 9.8%	0.08%pt 0.05%pt
	2位の業種	化学工業(除. 無機・有機化学工業・医薬品)	0.9%	0.07%pt
	品目	合成洗剤 頭髪用化粧品	16.3% 3.2%	0.04%pt 0.04%pt
	3位の業種	金属製品工業	1.4%	0.06%pt
	品目	ガス湯沸器 ガス温水給湯暖房機・風呂がま	46.8% 7.3%	0.06%pt 0.02%pt

寄与度：在庫全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

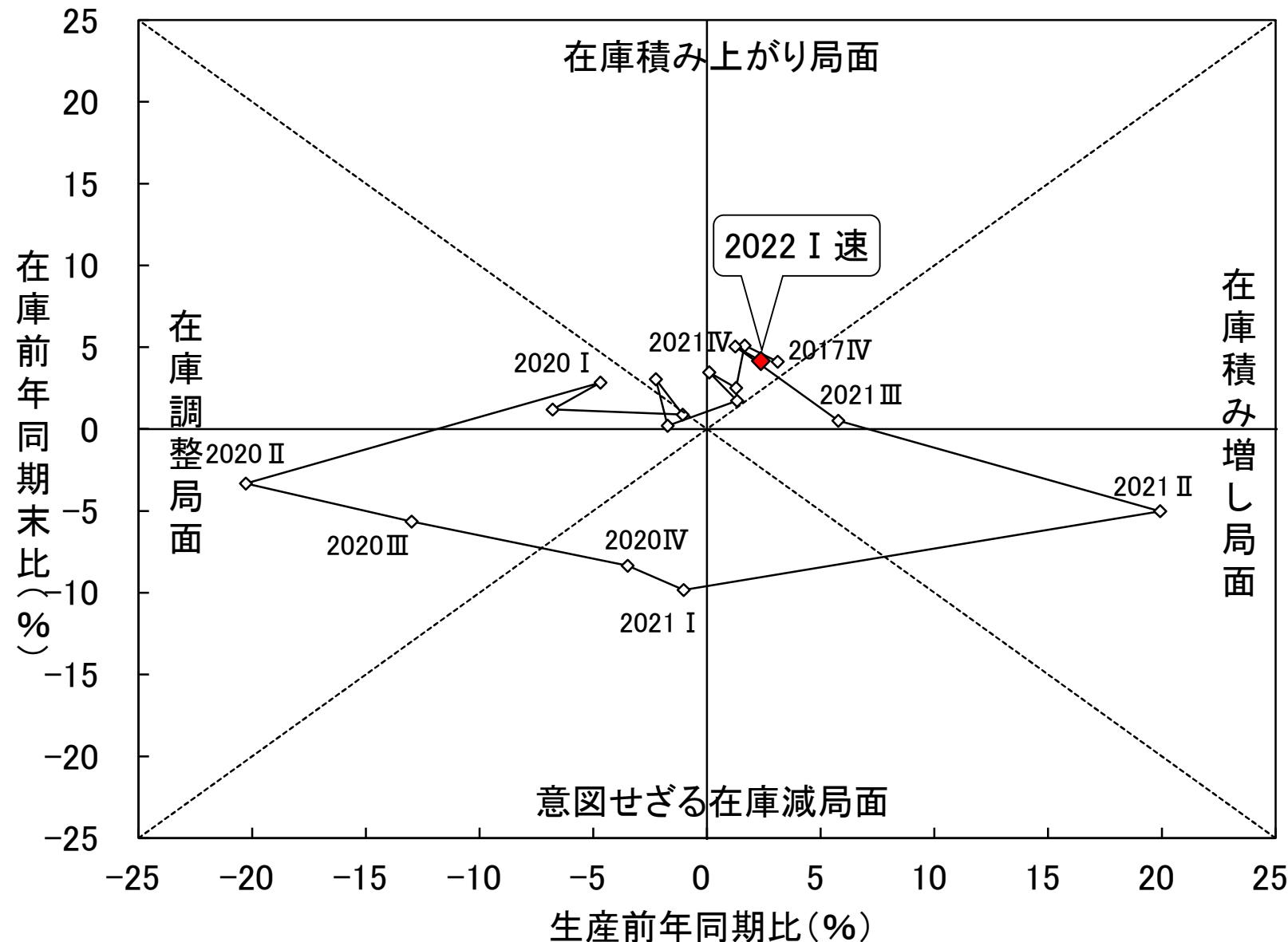
## 鉱工業在庫率指数の動向

- 2022年1月の在庫率指数は、114.3(前月比-1.3%)と4か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)



# 鉱工業の在庫循環図



(注) 「2022 I 速」の生産は11月、12月、1月の平均値、在庫は1月末の値を使用

# 製造工業生産予測指數 時系列

〈製造工業：Manufacturing〉

index, 2015 =100

年 月	季節調整済指數			前月比			実現率 Realization Ratio	予測修正率 Amendmen t Ratio	原指數			前年同月比			(参考)原指數による		Year and Month		
	Seasonally Adjusted Index			%Change From Previous Month					Original Index			%Change From Previous Year			実現率 Realization Ratio	予測修正率 Amendment Ratio			
	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month			前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month		
2020 年 12月調査	97.1	97.4	101.9	1.8	0.3	4.6	▲ 0.5	0.8	97.7	100.7	96.6	▲ 1.7	0.2	▲ 0.4	▲ 0.5	0.8	Dec. 2020		
2021 年 1月調査	96.6	102.6	103.5	▲ 0.5	6.2	0.9	▲ 0.8	0.7	99.9	97.2	100.2	▲ 0.6	0.2	3.9	▲ 0.8	0.6	Jan. 2021		
2月調査	98.8	102.3	97.5	2.3	3.5	▲ 4.7	▲ 3.7	▲ 1.2	93.6	99.0	111.0	▲ 3.5	2.7	5.0	▲ 3.7	▲ 1.2	Feb.		
3月調査	98.8	98.4	107.3	0.0	▲ 0.4	9.0	▲ 3.4	0.9	95.6	112.1	103.9	▲ 0.8	6.1	25.5	▲ 3.4	1.0	Mar.		
4月調査	98.9	107.2	102.6	0.1	8.4	▲ 4.3	0.5	▲ 0.1	112.6	103.8	94.3	6.5	25.4	35.3	0.4	▲ 0.1	Apr.		
5月調査	102.8	101.1	106.2	3.9	▲ 1.7	5.0	▲ 4.1	▲ 1.5	99.5	93.0	107.5	20.2	33.4	32.4	▲ 4.1	▲ 1.4	May		
6月調査	96.5	105.3	103.8	▲ 6.1	9.1	▲ 1.4	▲ 4.5	▲ 0.8	88.7	106.6	105.9	27.3	31.3	17.5	▲ 4.6	▲ 0.8	Jun.		
7月調査	103.6	102.5	104.2	7.4	▲ 1.1	1.7	▲ 1.6	▲ 1.3	104.8	104.6	96.2	29.1	16.1	18.9	▲ 1.7	▲ 1.2	Jul.		
8月調査	99.6	103.0	104.0	▲ 3.9	3.4	1.0	▲ 2.8	▲ 1.2	101.6	95.1	108.7	12.8	17.6	12.1	▲ 2.9	▲ 1.1	Aug.		
9月調査	97.3	97.5	104.1	▲ 2.3	0.2	6.8	▲ 5.5	▲ 6.3	89.9	101.9	104.7	11.1	5.1	7.4	▲ 5.5	▲ 6.3	Sep.		
10月調査	93.9	99.9	105.6	▲ 3.5	6.4	5.7	▲ 3.7	▲ 4.0	98.2	100.5	107.9	1.2	3.1	10.4	▲ 3.6	▲ 4.0	Oct.		
11月調査	94.4	102.9	105.1	0.5	9.0	2.1	▲ 5.5	▲ 2.6	95.0	105.2	108.7	▲ 2.6	7.7	8.8	▲ 5.5	▲ 2.5	Nov.		
12月調査	100.8	102.4	107.5	6.8	1.6	5.0	▲ 2.0	▲ 2.6	103.0	105.9	102.7	5.4	6.0	9.7	▲ 2.1	▲ 2.6	Dec.		
2022 年 1月調査	99.7	104.9	107.2	▲ 1.1	5.2	2.2	▲ 2.6	▲ 2.4	103.1	100.2	103.8	3.2	7.1	8.6	▲ 2.6	▲ 2.4	Jan. 2022		
2月調査	97.9	103.5	103.6	▲ 1.8	5.7	0.1	▲ 6.7	▲ 3.5	93.5	100.2	117.1	▲ 0.1	4.8	4.0	▲ 6.7	▲ 3.5	Feb.		

## 製造工業生産予測指標（当月、翌月の生産伸び率）

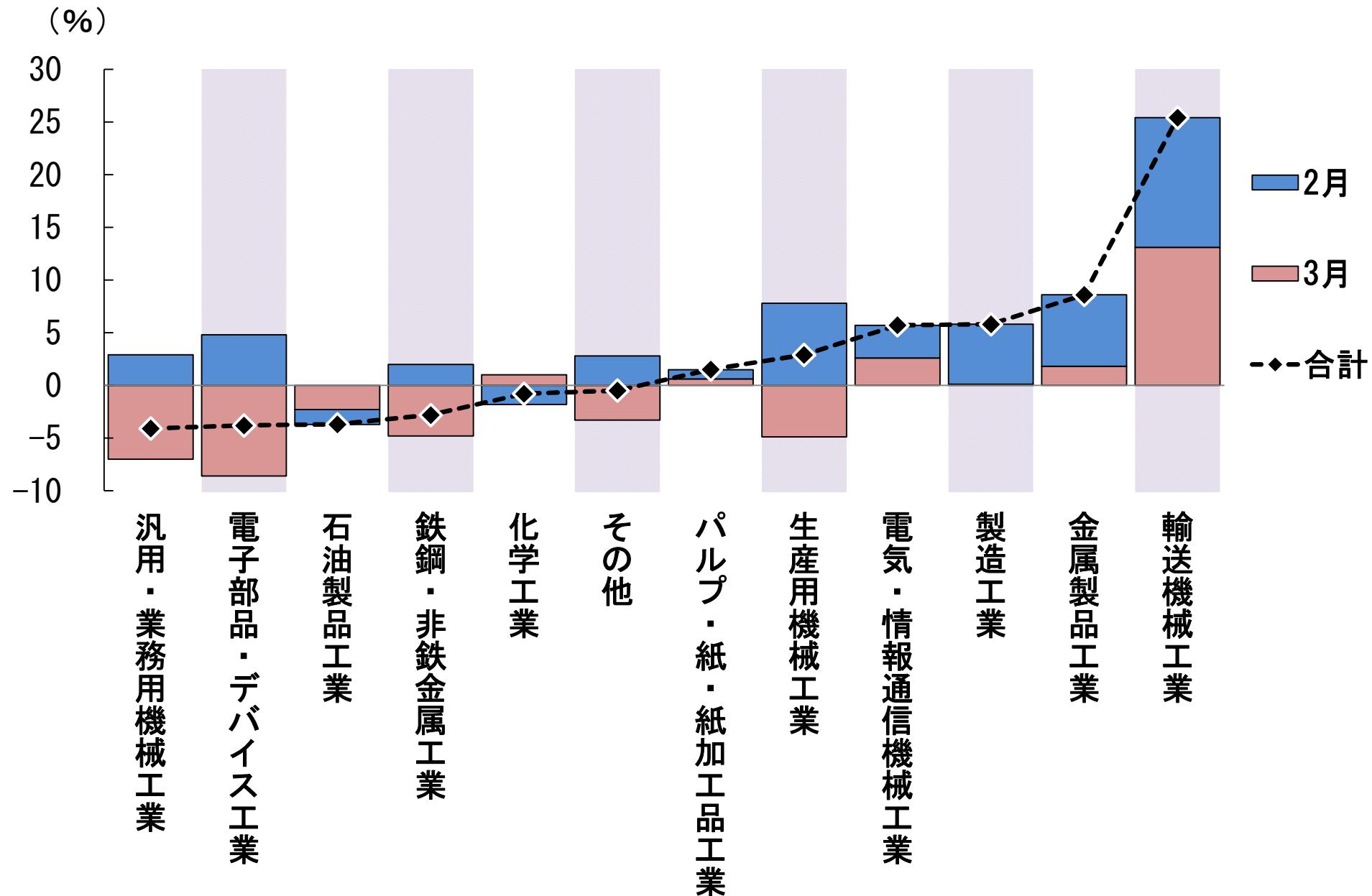
	1月調査 (前回)	2月調査 (今回)	2月調査 補正值
2月見込み	2.2%	5.7%	0.7% (-1.3%~2.7%)
3月見込み	—	0.1%	—



### （参考） 前回調査の結果

	1月予測調査	1月補正值	実際の結果
			鉱工業生産指數
1月前月比	5.2%	0.6% (-1.5%~2.7%)	-1.3%

## 2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



## 2022年2月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比	上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	12.3%	鉄鋼・非鉄金属工業	2.0%
生産用機械工業	7.8%	パルプ・紙・紙加工品工業	0.9%
電子部品・デバイス工業	4.8%	低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	6.8%	石油製品工業	-1.4%
電気・情報通信機械工業	3.1%	化学工業	-1.8%
汎用・業務用機械工業	2.9%		
その他	2.8%		

(注) 低下寄与業種の並びは、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きい

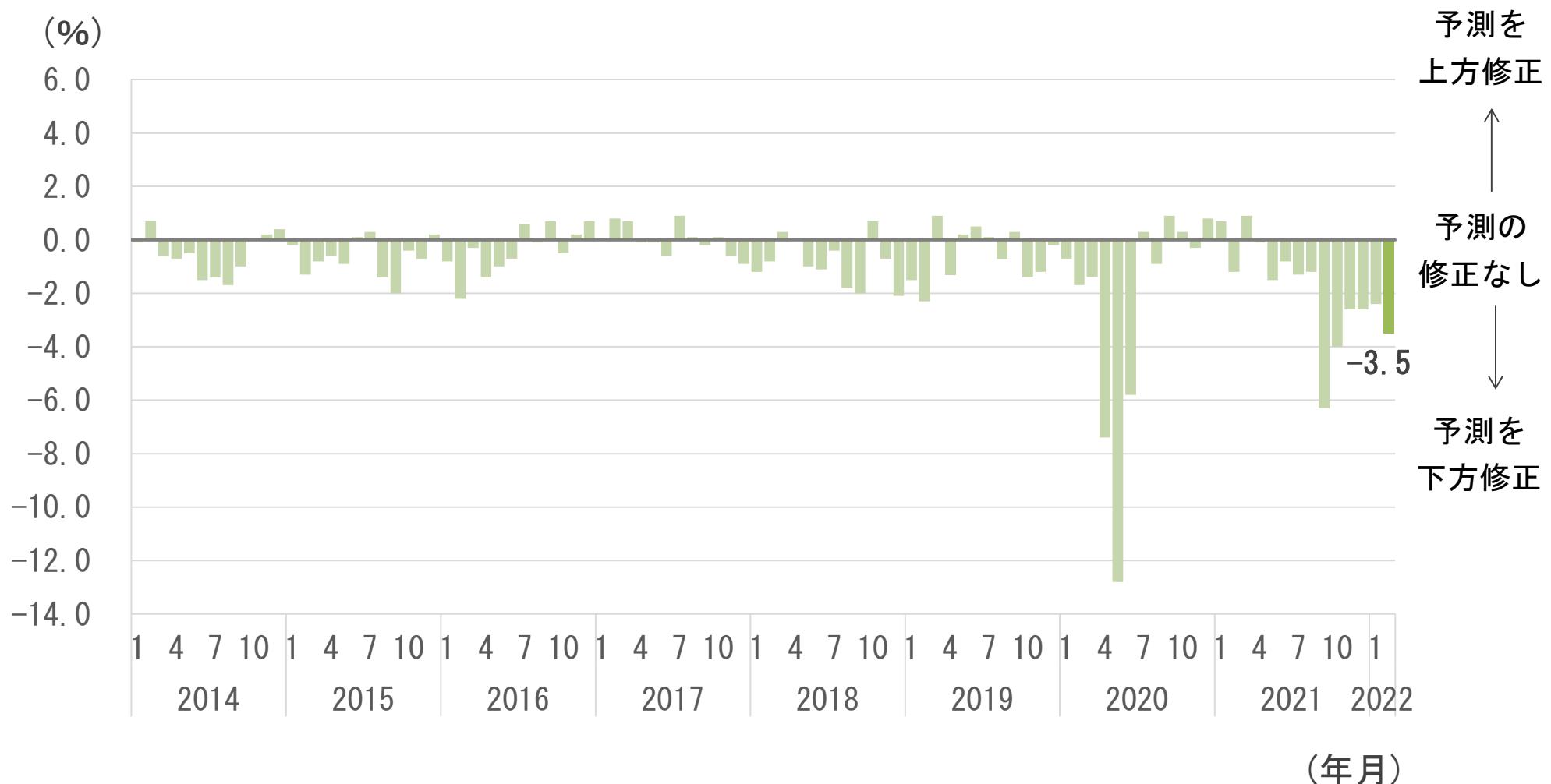
# 2022年3月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比	低下寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	13.1%	石油製品工業	-2.3%
電気・情報通信機械工業	2.6%	その他	-3.3%
化学工業	1.0%	鉄鋼・非鉄金属工業	-4.8%
金属製品工業	1.8%	生産用機械工業	-4.9%
パルプ・紙・紙加工品工業	0.6%	汎用・業務用機械工業	-7.0%
		電子部品・デバイス工業	-8.6%

(注) 低下寄与業種の並びは、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きい

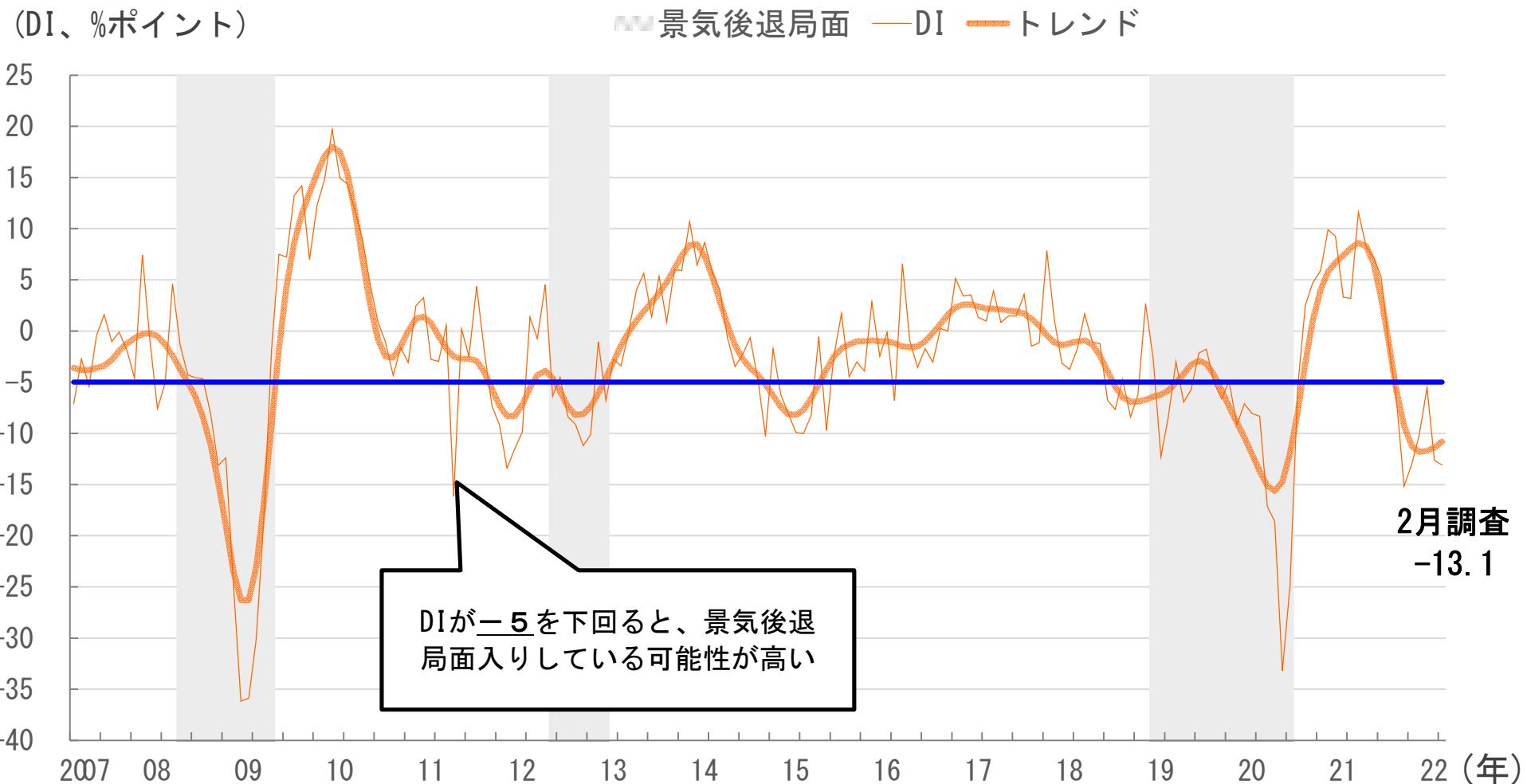
# 予測修正率の推移

- ・当月の生産計画が前回の生産計画からどの程度修正されたかを示したものが予測修正率となる。
- ・今回の調査では、予測修正率は-3.5%と低下になり、生産計画は11か月連続の下方修正となつた。



# 企業の生産活動に対する姿勢（生産活動マインド指標（D I））

- ・生産計画を上方修正している企業の割合から下方修正している企業の割合を差し引くことで企業の生産活動マインドを指標（D I）化。
- ・D Iのトレンドが-5を下回ると景気後退局面入りの可能性が高い。
- ・2月調査結果のDIは、-13.1（前月の-12.6から低下）。トレンドは-10.8と-5を下回る水準。



# 強気と弱気の比率の変化

- 2月調査結果のDIの内訳をみると、強気が22.8%、弱気が35.9%となっている。1月と比べて強気の割合は減少し、弱気の割合は減少した。

